2006_#FLASH

平成18年

2006年の当社グループの動きを写真と年表で振り返ってみました。

開発案件等はプレスリリース日を基準に掲載しています。

2005年



2日 韓国国際柔道大会で吉永慎 也選手 (81Kg 級) が優勝



4日 第4回 「東田たたらプロ ジェクト」 を開催

北九州市とともに、東田第一高炉史跡広場にて小学生、高校生、大学生らとたたら製鉄を行った。





21日 主要サプライヤーと鉄鉱石 長期売買に関する合意

当社は、2006年度からリオ・ティント・グループの豪州鉄鉱石会社であるハマスレーアイアン社およびローブリバー・アイア百百七/年(10年間)、BHPビリトン社との間で4百万七/年(7年間)、CVRD社との間で1百万七/年(10年間)なび2百万七/年(10年間)の鉄鉱石長期売買契約を締結・合意した。

27日 鉄鋼圧延用鋳造ロール製 造・販売の事業統合

当社と住友金属工業(株)は、新日鉄100%子会社の日鉄ハイパーメタル(株)と住友金属100%子会社の(株)カントクの圧延用鋳造ロールの製造・販売事業を統合し共同事業化することについて、05年9月に基本方針に合意し、06年4月1日に統合新会社「日鉄住金ロールズ(株)」を発足した。

2006年



6日 インドネシア SSWJ ガス パイプラインプロジェクト フェーズ // 南スマトラ パ ガルデワ ガスコンプレッ サー・ステーション建設工 事の受注

鉄構海洋・エネルギー事業 部 (現新日鉄エンジニアリング(株)海洋・エネルギー事業部) は、インドネシアガス公社 (PGN: インドネシア / ジャカルタ市) から、南スマトラ パガルデワ コンプレッサー・ステーション建設工事 (コントラクト・パッケージ5)を受注した。



9日 非飛散性アスベスト廃棄物 などの無害化処理実証試験 13日 を実施

プラント・環境事業部(現新日鉄エンジニアリング㈱環境ソリューション事業部)は、環境省からの委託による実証試験を北九州市の協力を得て実施。当社の「シャフト炉式ガス化溶融炉」方式を活用、高温で不燃物も溶融できる特長を確認した。



12日 サイアム・ニッポン・スチール・パイプの能力増強

タイ・インドネシアを中心とする自動車用鋼管の需要増に対応するため、タイに拠点をおくサイアム・ニッポン・スチール・パイプ(当社60.8%出資)のインドネシアにおける鋼管製造・販売を行う新会社を2007年1月に設立することを決定した。





16日 中国男子柔道への指導を支

中国柔道連盟の要請を受け、 中国男子柔道に対する指 導を通じた国際貢献活動を 当社が支援することとなっ た。またこの日、指導の要 請を受けた元五輪金メダリ スト、国際柔道連盟理事で 東海大学教授の山下泰裕氏 が当社を表敬訪問した。



18 日 新聞・雑誌広告「先進のそ の先へ、新日鉄」シリーズ スタート



02月

4日 (株)日鉄電磁テクノ「関東工 場」移転

当社の連結子会社である電 磁鋼板の総合加工センター ㈱日鉄電磁テクノが、関東 工場を千葉県浦安市から船 橋市の「船橋ハイテクパー ク」に移転して、稼働を開 始した。



4日 皇后陛下が紀尾井ホールの コンサートにご臨席

「青少年育成基金設立記念 子どもたちのためのオーケ ストラ入門」(日本オーケ ストラ連盟主催、文化庁後 援、新日鉄など協賛)に皇 后陛下がご臨席された。

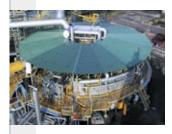
4日 中部・関東・関西地区で個 人株主 IR 実施

2月から3月にかけて3回 にわたり、個人株主を対象 としたIRを実施した。各 地域で経営・業績概況説明 会を行い、中部・関東地区 では、名古屋・君津各製鉄 所の見学会を実施した。



6日 朝日工業(株)向け電気炉ダ スト処理設備(RHF設備) を受注

プラント・環境事業部(現 新日鉄エンジニアリング ㈱製鉄プラント事業部、環 境ソリューション事業部) と三菱商事(株)は、朝日工業 ㈱から電気炉ダスト処理設 備(RHF設備)を共同で受 注した。



14日 新日鉄と山陽特殊製鋼(株)が

当社と山陽特殊製鋼(株)は、 双方の競争力強化のための 相互提携を実施していくこ とに合意した。

16日 新日鉄ホームページがリフ レッシュ

読み物コンテンツをわかり やすく整理した TOP ペー ジをはじめ、内容をさらに 充実させたホームページを 改訂した。



20日 名古屋製鉄所 ASR リサイ クル設備が営業運転を開始



23日 第 47 回鉄鋼安全表彰式 君津製鉄所が優良賞を受賞



1日 (株)新日鉄都市開発が参画す る「トップリート投資法人」 が東京証券取引所に上場

1日 室蘭製鉄所第6コークス炉 改修工事 (パドアップ) 開始 老朽化した第6コークス 炉の改修工事(パドアッ プ)が開始された。完成は



2日 4月1日付組織改正

- ○総務部コーポレートリス クマネジメントグループ を部組織に改組
- ○技術協力事業部を「技術 協力部」に改組
- ○エンジニアリング事業推 進体制の見直し

6日 中国・首鋼総公司遷安製鉄 所向け CDQ を受注

プラント・環境事業部(現 新日鉄エンジニアリング(株) 製鉄プラント事業部)は、 中国の遷安中化煤化工有限 責任公司(遷安コークス 会社 / 所在地:河北省遷安 市) からコークス乾式消火 設備(Coke Dry Quenching equipment/CDQ)をフルター ンキーにて2基同時受注し た。

13日 自己株式の取得結果および 取得終了に関するお知らせ 商法第211条の3第1項 第2号の規定に基づき自己 株式を取得した。

- 1. 取得する株式の種類: 当社普通株式
- 2. 買付け株式数: 113,277,000 株
- 3. 買付け総額: 49,995,771,000 円
- 4. 買付け方法: 東京証券取引所における 指定金外信託による市場 買付け

14日 中国におけるフロン処理 CDM 事業が国連承認へ

当社と三菱商事(株)が中国 山東省で進めているフロン 処理 CDM 事業が、3月13 日に国連の CDM 理事会で 正式承認された。



16日 キリンビール (株) が新北九 州空港開港デザインのス チール缶ビールを発売

キリンビール(㈱北部九州 第一統括支社北九州支社で は、当社のスチール缶によ るキリン一番搾り<生>「新 北九州空港開港デザイン 缶」を数量限定発売した。

18日 堺ブレイザーズが 「第 12 回 Vリーグ」で優勝

第12回 V リーグで堺ブレイザーズが初優勝を果たした。6年前にクラブチームとなってからは初の快挙。





20日 新日鉄のチタン合金 「Super-TIX*51AF」がダン ロップ「ALL NEW ゼクシ オ (XXIO)」に採用される SRI スポーツ(㈱のダンロップ新ドライバー「ALL NEW ゼクシオ (XXIO)」向けに、 新日鉄独自開発チタン合金 「Super-TIX*51AF」(スーパータイエックス)が採用 された。





28日 ンレス展覧展示会」(広東省) に出展

27日「食品廃棄物エタノール化 リサイクルシステム実験事 業」の実施

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の委託を受け、食品廃棄物からエタノールを製造する「食品廃棄物エタノール化リサイクルシステム実験事業」を 2005 年12 月 12 日より北九州エコタウンで実施。



28日 上海宝鋼向けブリキ鋼板製 造設備を受注

エンジニアリング事業本部 (現新日鉄エンジニアリング (株)) は、宝鋼集団より電気ブ リキ鋼板製造設備(ETL) と、 ティンフリー鋼板製造設備 (TFSL) を受注した。

28日 低炭鉛フリー快削鋼線材の 本格採用始まる

環境対応型商品として開発した低炭鉛フリー快削鋼線材が、富士ゼロックス(㈱)をはじめとした大手 OA 機器メーカーのプリンターシャフト、ならびに自動車部品(ブレーキ部品、自動変速機部品)に世界で初めて採用された。



29日 住友金属工業 (株)、(株) 神戸 製鋼所との三社賞書締結

新日鉄、住友金属工業(株および(株)神戸製鋼所は、引き続き連携を深化・推進し、3社のいずれかに買収提案がなされた場合に、他の2社への通知と要請に基づいて、買収提案が提携関係に与える影響およびそれに対する対応を共同して検討する旨を取決めた三社覚書を締結した。

29日 新日鉄と東洋鋼鈑 ㈱が提携

当社と東洋鋼鈑(株)は、双方 の競争力強化のために相互 連携していくことに合意し た。

29日 当社株式の大量買付けに関 する適正ルールの導入と新 株予約権の発行登録

取締役会において、「株式の大量買付けに関する適正ルール (買収防衛策)」の導入を決定した。

30日 環境寄与度世界ランキング で新日鉄が10位に

米国の環境保護団体、投資 関係団体からなる連合組織 "Ceres"(セリーズ)が公表した環境寄与度世界ランキングで、当社が日本企業中最上位の10位にランキングされた。

31日 君津製鉄所が2005年度粗鋼 生産量1,000万t超を達成

君津製鉄所が 2005 年度粗 鋼生産量 1,000 万 t 超を達成。創業以来 40 年での達成となった。



31日「新日鉄技報」384 号を発行 「製銑」を特集した 384 号 を発行した。



04_月

1日 本社と各所で入社式

428名の新入社員が入社した。



1日 日鉄物流(株)と製鉄運輸(株) が事業統合

日鉄物流(株)と製鉄運輸(株)が、共同株式移転により持株会社「日鉄物流ホールディングス(株)」を設立し、事業を統合した。

1日 太平起業(株)と(株)エヌエス保 険サービスが合併

太平起業(株と株)エヌエス 保険サービスが合併し、「日 鉄保険サービス(株)」が発足 した。

3日 君津製鉄所がホームページ をリニューアル



6日 超深絞り加工用純チタン材がソニー製品に採用される 当社が開発した深絞り加工性に極めて優れた純チタン材「Super-PureFlex*」が、ソニー (株製の超高音質リニア・PCM・ レコーダー「PCM・D1」の筐体 に採用された





11日「ニッテツスーパーフレー ム工法」のホームページを リフレッシュ

> 当社薄板営業部住宅建材開 発グループでは、「ニッテ ツスーパーフレーム工法」 のホームページをリフレッ シュした。

12日 中国/杭州大劇院、台湾 /Taipei Arena で新日鉄の チタンが採用される

> 『杭州大劇院』(浙江省)の 外装パネルに当社のチタン が本格的に採用された。ま た、『Taipei Arena』(台北市) の屋根・外装パネルにも当 社のチタンが使用された。



12日 新日鉄住金ステンレス(株)の クロム系異形鉄筋が業界初 の国交大臣認定取得

> 新日鉄住金ステンレス(株)は、 クロム系ステンレス異形鉄 筋 (NSSD410-295) の国土 交通大臣認定をステンレス 業界で初めて取得した。



12日 2006 国際ウエルディング ○ ショーに共同出展

15日 当社は、日鉄住金溶接工業 (株)、日鉄溶接工業(株)と共 同で、東京・有明のビッグ サイトを会場に開催された 「2006国際ウエルディン グショー | に出展した。



17日 中京製線(株)と(株)チタック が合併

> 中京製線(株)および(株)チタッ ク、ならびにそれぞれの親 会社である新日鉄および伊 藤忠丸紅鉄鋼㈱は、2005 年7月に中京とチタック の伸線事業を統合すること に向けた基本合意に至り、 2006年6月1日に合併新 会社(日鉄東海鋼線(株))を 発足することとした。

25日 釜石製鉄所がホームページ をリフレッシュ



28日 武蔵野美術大生が君津製鉄 所を見学

> 彫刻家で武蔵野美術大学 教授の伊藤誠さん(マンス リー表紙作品制作者)と同 大学の学生が君津製鉄所を 見学した。



05月

9日 ステンレス鋼線事業統合に 向けて基本合意

> 鈴木金属工業(株)と住友電工 スチールワイヤー㈱は、両 社のステンレス鋼線事業を 統合し新会社を設立するこ とについて基本合意した。

9日 村山鋼材㈱が「さわやか 信用金庫 第2回ビジネス フェア」に絵本「新・モノ 語リ」を展示



15日 新土留め・地下壁工法「ソ イルセメント鋼製地中連続 壁工法」が仙台・北四番丁 大衡線(北山工区)で初採用 仙台市は都市計画道路「北 四番丁大衡線」の北山工区 において、当社が中核メン バーである鋼製地中連続壁 協会が開発した「ソイルセ メント鋼製地中連続壁工 法」を採用し、ハザマ・佐 清工業 JV が施工を行った。 擁壁の薄壁化が活かされる 当社の「NS-BOX」が適用さ



18日 環境・社会報告書が東洋経 済「環境報告書賞」優良賞 を受賞

> 当社の環境・社会報告書が 「第9回環境報告書賞・サス テナビリティ報告書賞」(主



催:東洋経済新報社、グリー ンリポーティング・フォー ラム) の環境報告書賞部門 で優良賞を受賞した。

18日 春の「黄綬褒章」 受章

八幡製鉄所設備部システム 制御技術グループの池田武 利さんが春の「黄綬褒章」 を受章した。

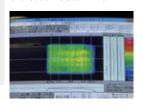


21日 高横須賀共同住宅(愛知県 東海市)を「ニッテツスー パーフレーム工法」で建設 当社が展開する住宅工法 「ニッテツスーパーフレームエ 法」が、当社名古屋製鉄所(愛 知県東海市)の社宅(3階建 て・3棟・全78戸)に適用 されることが決定した。



25日 次世代型制御冷却プロセス 「CLC-μ」を君津製鉄所 厚板工場に導入

> 溶接性に優れた高張力・高 靭性鋼などの製造を可能 とする次世代型制御冷却プ ロセス「CLC-μ(ミュー)」 を開発し、君津製鉄所の厚 板工場に導入した。2005 年3月に完工し、7月から 本格稼働を開始した。





26日 会計監査人の選任

取締役会において、2006 年6月28日開催の当社第 82回定時株主総会に、会 社法第328条第1項の規 定に基づく会計監査人を2 名選任する旨の議案を提出 することを決議した。

27日 皇太子殿下が新日鉄文化財 団共催公演「ヴィオラ・ス ペース 2006」にご臨席

紀尾井ホールで行われた 財新日鉄文化財団および テレビマンユニオン共催 の「ヴィオラ・スペース 2006 Vol.15」に皇太子殿 下がご臨席された。



30日 新日鉄と住友金属工業㈱両 社グループの建材薄板事業 と道路・土木商品関連事業 の統合について、基本契約 書を締結

当社と住友金属工業(株)は、両社の連携策の一環として、2006年2月に両社グループにおける建材薄板事業および道路・土木商品関連事業の統合検討を開始することについて基本合意し、このたび両社グループ間で統合のための基本契約書を締結した。

30日 当社社員が広東商学院大 学で講演

広州太平洋馬口鉄 (PATIN) 総経理の板垣毅さん(当社より派遣)が、「広州講演キャラバン隊」に参加し、広東商学院大学で「戦後の日本経済の変遷一鉄鋼業を例として一」というテーマで講演を行った。



31日 京都 / 小倉百人一首殿堂に新 日鉄のチタンが採用される

京都商工会議所 120 周年 記念事業のひとつとして 「小倉百人一首殿堂・時雨殿」 が完成した。その屋根材に 当社のチタンが採用された。



1日 ボッシュ㈱から 2005 年サプライヤー・アワードを受賞当社は特殊鋼棒線の取引において、ボッシュ(株)より「2005 年 サプライヤー・アワード」を受賞した。



3日 全日本実業柔道団体対抗大 → 会で柔道部が準優勝

4日 第56回全日本実業柔道団体 対抗大会(第1部)で当社柔 道部が準優勝し、森田祥一選 手が優秀選手賞に選ばれた。



4日 をプレゼント

(社)日本鉄鋼連盟が出展した「エコライフ・フェア 2006」に当社の学習絵本 『新・モノ語リ』を提供し、 参加者に配布された。





6日 日鉄鋼板(株)が「全国イソバンド会」の総会を開催

日鉄鋼板㈱は、金属サンド イッチパネル建材「イソバ ンド」の拡販を目的とした 販売・施工会社組織「全国 イソバンド会」の総会を開 催した。

15日 君津製鉄所第5溶融亜鉛メッキ設備が営業運転を開始



21日 中部国際空港島で「水素ステーション」実証試験を開始

当社は東邦ガス(株)、大陽日酸(株)とともに、中部国際空港およびその周辺地域を走行する燃料電池バスなどへの燃料供給を目的とした「JHFCセントレア水素ステーション」を中部国際空港島内(愛知県常滑市)に建設した。

28日 執行役員制度の導入

第82回定時株主総会において、執行役員制度を導入。 あわせて常務執行役員・執 行役員(いずれも重要な使用 人)を選任し、業務分担・役 職委嘱について決定した。

30日 NS ソーラーマテリアル(株) 設立

これまで多結晶シリコン製造技術の研究開発を進めてきた当社は、新たに事業会社(NSソーラーマテリアル株)を設立し、実機プラントの建設に着手する。

07_月

1日 新日鉄エンジニアリング(株) 発足

新日鉄グループのエンジニアリング事業を担うセグメント会社として、「新日鉄エンジニアリング(株)」が発足した。



1日 新日鉄マテリアルズ(株)発足 新日鉄グループの新素材事 業を担うセグメント会社と して、「新日鉄マテリアル ズ(株)」が発足した。



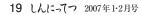
1日 関東・北海道地区で個人株 主 IR を実施

関東地区で経営・業績概況 説明会と製鉄所見学会、北 海道地区で経営・業績概況 説明会を開催した。





5日 タイ/SIAM TINPLATE 社 が「THAILAND ENERGY AWARDS 2006」を受賞 当社が出資しているブリキ





メーカー「SIAM TINPLATE 社」が、タイ2006年度の 「THAILAND ENERGY AWARDS 2006」を受賞した。

5日 新日本テクノカーボン(株)が 生産能力を30%増強

新日鉄化学㈱が50%出資している新日本テクノカーボン㈱が、需要の旺盛な特殊炭素製品の生産能力を30%増強することを決定した。

6日 東京製綱(常州)有限公司 が開業式を開催

当社が出資するスチール コードの製造販売会社である「東京製綱(常州)有限 公司」が開業式を開催した。



7日 上海中錬線材有限公司の第 2期工事を竣工

冷間懸架ばね用ワイヤーの 製造販売会社である「上海 中錬線材有限公司」の第2 期設備増強工事の竣工に伴 う火入れ式が、上海市の同 社工場内で開催された。



7日 北海道スチールワイヤー(株) 開所

室蘭製鉄所構内に、自動車 エンジンの弁ばね用オイル テンパー線を生産する北海 道スチールワイヤー㈱が開 所した。





8日 当社新潟支店では、新日鉄 エンジニアリング(株)、日鉄 建材工業(株)、新日鉄住金ス テンレス(株)を加えた新日鉄 グループ4社で「にいがた 環境展 2006」に出展した。

9日 紀尾井シンフォニエッタ東 京 岩手公演開催

10日 指揮・チェロにマリオ・ブルネロを迎え、遠野・釜石・矢巾の岩手県3カ所で演奏会を開催した。地元小中学生、高校生、市民に対する特別レッスン、公開練習も行った。



10日 中国・太原鋼鉄(集団)有限 公司より最新鋭電気炉設備 を受注

新日鉄エンジニアリング㈱ と丸紅㈱は、中鋼設備公司 と共同で、中国の太原鋼鉄 (集団)有限公司より電気 炉および付帯設備一式を受 注した。

21日 JHFCセントレア水素ステー ションの本格運用を開始

当社と東邦ガス㈱、大陽日酸㈱が、中部国際空港およびその周辺地域を走行する燃料電池バスなどへの燃料供給を目的として建設した「JHFCセントレア水素ステーション」が完成し、開所式が行われた。



26日 自己株式の取得結果および 取得終了に関するお知らせ 会社法第 459 条第 1 項お

会社法第 459 条第 1 項および当社定款の定めに基づき、自己株式を取得した。

- 1. 取得する株式の種類: 当社普通株式
- 2. 買付け株式数:
 226,513,000株
- 3. 買付け総額: 99,996,979,000円
- 4. 買付け方法: 東京証券取引所における 指定金外信託による市場 買付および事前公表型市

28日 名古屋製鉄所が焼結鉱生産 累計 3 億 t 達成

場買付



31日 鈴木金属工業㈱と連携強化 当社は鈴木金属工業㈱が実 施する第三者割当増資を引 き受け、同社株の約 12% を追加取得することとし



1日 浅草寺宝蔵門に新日鉄のチタンが採用される

浅草寺宝蔵門の本瓦葺き 屋根用としてチタン7t(約 1,080 ㎡)を受注した。チ タンが本瓦葺きの屋根に採 用されるのは初めて。



10日 特殊鋼棒線二次加工事業企 画会社の設立

当社は松菱金属工業(株)、宮崎精鋼(株)および(株)サンユウと、海外における特殊鋼棒線二次加工事業の一体的かつ迅速な展開を狙いとして、共同で事業企画会社(株) NBC)を設立することとした。

18日 (財経済広報センターが主催 する「教員民間企業研修」 が名古屋製鉄所で実施さ



18日 サイアム・ユナイテッド・ スチールがタイ総理大臣賞 を2年連続で受賞

当社が筆頭株主として出資しているタイの冷延鋼板メーカー、サイアム・ユナ

イテッド・スチールが 2006 年度の タイ総理大臣賞 (品質管理部門)を受賞 し、首相官邸にて表彰を受けた。







20日 広畑製鉄所で「たたら製鉄 実演」を実施

広畑製鉄所が同所施設広畑 スポーツセンターにて「た たら製鉄実演」を実施した。

22日 中国に冷間圧造用鋼線の製造・販売会社を設立

新日鉄グループの棒線二次 加工の事業企画会社である (株) NBC での検討を踏まえ、 松菱金属工業(株)、宮崎精調 (株)、(株) サンユウ、豊田通商 (株)、(株) メタルワン、日鉄商 事(株)と合弁で中国江蘇省蘇 州市に冷間圧造用鋼線の 造・販売会社を設立することを決定した。

23日 君津製鉄所・技術開発本部 で教員民間企業研修を実施

25日 財経済広報センターが主催 する「教員民間企業研修」 が君津製鉄所および技術開 発本部で実施された。



26日 中国 /PATIN が累計出荷 数量 100万t を達成

当社が出資しているブリキメーカーPATIN(Guangzhou Pacific Tinplate、広州太平洋馬口鉄有限公司)が累計出荷数量100万tを達成した。



27日 全日本実業柔道個人選手権 大会で落合幸治選手 (66kg 級)が準優勝



28日 広畑製鉄所硬式野球部が都 市対抗野球大会に出場

東京ドームで行われた第77回都市対抗野球大会に、 姫路市代表として広畑製鉄 所硬式野球部が出場し、2回戦まで勝ち進んだ。



30日 日本分析化学会「先端計測 分析技術・機器開発賞」を 受賞

先端技術研究所解析科学研究部の林俊一さんが、第3回先端計測分析技術・機器開発賞を受賞した。



31日 豪州バルガ炭鉱における新鉱区開発について

当社は資源大手のエクストラータ社などとの間で、豪州のバルガ炭鉱において新鉱区(坑内掘り)の開発を行うことに合意した。2007年に新鉱区の建設工事に着手し、2009年から豪州最大級の最新鋭掘削設備(ロングウォール)によって炭生産を開始する予定。



09_月

3日 君津製鉄所焼結累計生産量 4億 t 達成

5日 学習絵本シリーズ第6巻 『ときめく街の"新・モノ 語リ"』の発行および「新・ モノ語リ」友の会が発足 第6巻では当社グループ の「街づくり/都市再生」 をわかりやすく紹介。さら に、読者を対象に「新・モ ノ語リ」友の会が発足した。



7日 2007年3月期中間期およ び年度業績見通しならびに 剰余金の配当方針(中間期 末)を発表

11日 絵本『新・モノ語リ』を使用した授業が行われる東京都練馬区立大泉小学校4年1組で、当社出版の絵本『新・モノ語リ』を使用した授業が行われた。



15日 新日鉄 グループ第2回 ものづくり現場力向上 JK 大会開催

昨年に引き続き本社で第2回大会が開催され、各所代表チームが熱のこもった発表を行った。





19日 当社のチタン薄板がキヤノ ン(株)製デジタルカメラのボ ディ外装に採用される

キヤノン㈱製デジタルカメ ラの新製品「IXY DIGITAL 1000」のボディ外装に、当社 のチタン薄板が採用された。

20日 当社が"気候変動リーダー シップ・インデックス(Climate Leadership Index:CLI)" に選定される

世界の主要な資産運用会社と機関投資家グループなどが、連名で世界の主要上場企業に対して温室効果ガスの排出量などに関する情報公開を求めるカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP4)において、当社は"気候変動リーダーシップ・インデックス(Climate Leadership Index:CLI)"に選出された。

23日 関東・関西地区で個人株主 IR 実施

関東・関西地区において個 人株主を対象とした経営・ 業績概況説明会と製鉄所見 学会を実施した。



26日「アニュアルレポート 2006」 「環 境・社 会 報 告 書 ~ Sustainability Report ~ 2006]を発行







26日 2006年度の発明改善表彰 決まる

発明改善によって当社社業 に顕著な貢献をした社員 に、2006年度発明改善表 彰社長賞が授与された。(表 彰件名: 高生産性高機能無 方向性電磁鋼板製造技術の 開発、高耐用性カーボンブ ロックの開発)

27日 三菱重工業(株)とコンテナ船向 高強度鋼板を共同技術開発

当社は三菱重工業㈱と共同 で、大型コンテナ船に世 界で初めて降伏応力47kg 級高強度鋼板(ハイテン) を構造上最も重要な縦強度 部材に採用した。



I 0 |

1日 日鉄環境エンジニアリング 株が発足

当社の連結子会社である環 境エンジニアリング㈱と、 新日鉄化学㈱の連結子会社 である(株)新日化環境エンジ ニアリングの両社が合併 し、日鉄環境エンジニアリ ング㈱が発足した。

1日「鉄と鉄鋼がわかる本」第10

2004年11月に発行した「鉄 と鉄鋼がわかる本(日本実 業出版社) | が引き続き好 評につき、第10刷が発行 された。金属分野での書籍 としては異例の実績。





1日 国際鉄鋼協会(IISI)が年次 総会を開催

3日 アルゼンチン・ブエノスアイ レスにて IISI の第 40 回年次 総会が開催され、鉄鋼業界の 課題と今後の方向性につい ての講演などが行われた。

4日 名古屋製鉄所新 2CGL 竣工 式を実施(9/16から営業運 転開始)



4日 日本 GTL 技術研究組合を 設立

新日鉄エンジニアリング(株) 国際石油開発㈱、新日本石 油(株)、石油資源開発(株)、コ スモ石油㈱、千代田化工建 設㈱の6社は、「日本GTL 技術研究組合」を設立し、 独立行政法人石油天然ガス・ 金属鉱物資源機構と共同で、 天然ガスの液体燃料化技術 (GTL 技術)の実証研究を開 始することとした。

6日 ブラジル /CVRD 社ブルク ツ鉱山開山式に三村社長が

世界最大の鉄鉱石サプライ ヤーである CVRD 社のブ ルクツ鉱山の開山式が行わ れ、三村社長らが出席、記 念品の贈呈を行った。



8日 釜石製鉄所の社員がたたら サミットに参加



10日 東京地家裁立川支部(仮称) 庁舎整備等事業 (PFI 事業) の事業者に選定される

新日鉄エンジニアリング(株) 建築・鋼構造事業部を中心 とするグループが、地方裁 判所庁舎としては最大規模 の建物となる東京地家裁立 川支部 (仮称) 庁舎整備等 事業 (PFI 事業) の事業者 に選定された。

16日 サハリン1 プロジェクト のパイプライン施設完了と 原油輸送開始

新日鉄エンジニアリング(株) 海洋・エネルギー事業部は、 2002年10月にエクソン・ ネフテガス(株)からサハリン 1 プロジェクトのパイプラ イン設計、調達、建設を一 貫で受注。このほどパイプ ラインの施設が完了し、原 油の輸送が開始された。

17日 サイアム・ユナイテッド・スチー ル (SUS)を連結子会社化

当社のタイにおける冷延 鋼板製造・販売会社であ るサイアム・ユナイテッ ド・スチール(以下 SUS) について、タイ側のパート ナーであるサイアムセメン トから株式を買取り、同社 への出資比率を 44.7% に 引き上げ、当社の連結子会 社とすることを決定した。

20日 釜石製鉄所創業 120 周年

釜石製鉄所は1886年10 月16日の高炉連続出銑成 功の日から数えて120周 年を記念し、「創業120周 年記念式典」を開催した。 なお22日には製鉄所・協 力会員の家族を対象とした 工場見学会を開催した。



20日 POSCO との戦略的提携深 化と株式の相互追加取得に 合音

当社と(株)ポスコは、半製品 の相互供給と、乾式ダスト リサイクルに関する共同対 応について合意。さらに連 携施策をより強力に推進す るため、相互に株式の追加 取得を行うこととした。こ れを受けて、同日、両社営 業部門にて半製品の相互供 給契約を締結した。

20日 ユーロ円建転換社債型新株 予約権付社債(劣後特約付)

取締役会において、当社の 海外子会社 "NS Preferred Capital Limited"を割り当 て先として、ユーロ円建転 換社債型新株予約権付社債 (劣後特約付)総額3.000 億円を発行し、同社が同額 のユーロ円建交換権付優先 出資証券を発行する方法に より資金調達を行うことを 決議した。

20日「北海道 新日鉄グループ展 2006 を開催

札幌グランドホテルにて、 北海道支店、室蘭製鉄所と 新日鉄グループ 22 社の共 催で「北海道 新日鉄グルー プ展 2006」を開催した。







20日「新日鉄技報」385 号を発行 「接合・溶接技術」を特集 した 385 号を発行。



26日 堺浜開発事業が 2006年度 土地活用モデル大賞・審査 委員長賞を受賞

堺製鉄所の低・未利用地(堺第2区臨海部)に大型商業・アミューズメント複合施設「堺浜シーサイドステージ」を誘致し開発した事業が、応募16点の中から財都市みらい推進機構の土地活用モデル大賞・審査委員長賞を受賞した。



26日 2007年3月期中間決算発表 2007年3月期中間決算お

2007年3月期中間決算および、年度業績見通しならびに余剰金の配当(中間期末)を発表した。配当は1株につき4円。

30日 新日鉄ソリューションズ(株) が(株)セールス・フォース・ ドットコムと業務提携

新日鉄ソリューションズ㈱は、オンデマンド・ビジネスサービスのリーディングカンパニーである㈱セールス・フォース・ドットコムと、相互にオンデマンドサービス (Salesforce およびnsxpres.com) を販売する業務提携を発表した。

30日 高強度複合特性鋼管の量産 化体制を確立

君津製鉄所鋼管工場における高強度複合特性 UO 鋼管の量産化体制確立に向けた投資を決定した。ラインパイプ分野における最先で開発した X120グレードを始めとする高強度複合特性 UO 鋼管の量産体制を、競合他社に先駆け世界で初めて2008年3月に確立する。



1日 大分で日中鉄鋼業環境保全・ 省エネ先進技術専門家交流 2日 会を開催

日本鉄鋼連盟と中国鉄鋼工業協会は、日中鉄鋼業環境保全・省エネ先進技術専門家交流会(大分県・別府市)を開催した。日本側を代表し、当社関澤副社長が挨拶した。



2日 新日鉄化学(株)の君津コーク ス事業を新日鉄へ統合

当社と新日鉄化学(㈱は、製 鉄工程の一体操業による一 層の効率化を狙いとして、 新日鉄化学の君津コークス 事業部の事業を、分社型吸 収分割により新日鉄に統合 することについて、基本合 意した。



6日 ウジミナス社の株式を取得

ブラジルのウジミナス社 (05 年粗鋼生産 866 万トン) の株 主であるウジミナス社従業員 年金基金等よりウジミナス社 議決権株式 1.7% を購入する と同時に、ウジミナス社主要 株主と期間 15 年間の株主間 協定を締結。当社はウジミナ ス社の過半数の議決権株式を 保有する協定株主グループの 一員となった。

6日 タイに冷間圧造用鋼線の製 造・販売会社を設立

当社は松菱金属工業(株)、宮崎精鋼(株)、(株)サンユウ、豊田通商(株)、(株)メタルワン、鈴豊精鋼(株)と合弁で、タイに冷間圧造用鋼線の製造・販売会社を設立することについて合意した。

11日 名古屋製鉄所が東海秋まつ と りでたたらを実施

17日 秋の「黄綬褒章」 受章

広畑製鉄所錫メッキ工場の 塚本敏昭さんが秋の「黄綬 褒章」を受章した。



17日 技術開発本部発足 15 周年

₹ 記念行事として、初日、2 19日 日目は地域の方々と技術開発本部関係のOBを対象とした見学会および懇親会を、3日目は首都圏の学生を中心とした見学会を開催。3日間で約400人が参加した。



18日 皇后陛下が紀尾井ホールコンサートにご臨席

国内最初の知的障害者の福祉施設「滝乃川学園本館」の修復チャリティーコンサート「『天使のピアノ』へのいざない デュオコンサート」に、皇后陛下がご臨席された。

23日 八幡製鉄所は、新日鉄エンジニアリング(株)、(株)九州テクノリサーチ、北九州エコエナジー(株)とともに「エコ・テクノ 2006」に出展し、循環型社会構築への参画や環境ソリューションの提供などを PR した。



20日 八幡製鉄所がホームページ をリニューアル



21日 新日鉄グループ第2回技 能トライアスロン大会開催 (君津製鉄所)

第2回大会が君津製鉄所を会場に開催され、グループ会社を含む24名の若手社員が参加して、機械整備の「仕上げ」「工事」「溶断・溶接」の三大技能を競い合った。



22日 大分製鉄所で日豪交流を実 施

豪州の原料供給地区の小学 生が大分市立明野西小学校 の児童と交流。大分製鉄所 も見学した。

- 24日 名古屋薄板工場 3 号酸洗 ライン、2 号冷延ラインで 月間生産量日本新記録達成 10 月に 3 号酸洗ライン月間 生産量 188.5 千 t、2 号冷 延ライン月間生産量 191.2 千 t と、単独式酸洗ライン および冷延ラインとして日 本新記録を達成した。
- 27日 八幡東田地区に「イオン 八幡東ショッピングセン ター」がグランドオープン (株新日鉄都市開発がイオン(株)と施設開発を進めてきたショッピングセンターがオープンした。

28日 千葉県木更津市南部地区公 共埠頭が全国初の湾岸特区 に認定される

大型船が接岸可能な木更 津港南部地区の公共埠頭 への大型特殊車両の通行 規制が緩和された。これ により、君津製鉄所では 今後岸壁出荷能力の向上 が見込まれる。

12_月

1日 科学技術館の鉄鋼展示室が リニューアルオープン

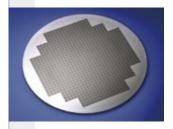
日本鉄鋼連盟が「鉄鋼業の 社会的認知度向上策」における「ものづくり教育」の 中核事業として、(財)日本科 学技術振興財団科学技術館 の協力を得て検討・実施してきた科学技術館(東京・ 北の丸公園)鉄鋼展示室改 装が完成し、スタートした。

1日 日鉄住金鋼板(株)、日鉄住金 建材(株)が発足

新日鉄と住友金属工業㈱ は、両社の連携策の一環と して、両社グループにおけ る建材薄板事業および道路・土木商品関連事業を統 合し、日鉄住金鋼板㈱と日 鉄住金建材㈱を設立した。

1日 新日鉄マテリアルズ㈱が「直 径100μmクラスのマイクロ ボール・バンピング技術」を モバイル製品へ実用化

新日鉄マテリアルズ(株)は、独自技術である半導体基板への一括搭載ボールバンピング技術を W-CSP (ウェーハレベル・チップ・サイズ・パッケージ) 製品へ適用し、世界で初めてとなるボール 径 $100 \, \mu \text{m}$ クラスでの量産を開始した。



3日 科学技術館でたたら開催

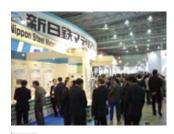
科学技術館「サイエンス友の会」会員の20組40名の親子が、たたら製鉄を体験。三村社長、関澤副社長をはじめ、新日鉄グループ社員が多数ボランティアとして参加した。

3日 第5回「東田たたらプロ ジェクト」を開催

八幡製鉄所は北九州市とと もに、東田第一高炉史跡 広場で直協若手社員や大学 生、市民親子らとたたら製 鉄を行った。



6日 広畑製鉄所がたたら出前授 業を実施



6日 新日鉄マテリアルズ㈱がセ ミコン・ジャパン 2006 に

8日 出展

新日鉄マテリアルズ(株)は当 社先端技術研究所と共に日 本最大の半導体展である『セ ミコン・ジャパン 2006』 に 出展した。話題のマイクロ ボール・バンピング・サービ スを中心に、国内外の多く の来客の注目を集めた。

8日 戦略特許発明表彰 24 名の 社員に金賞

当社の技術先進性の拡大に 寄与する戦略特許を発明し た24名の社員に、2006 年度戦略特許発明金賞が授 与された。



9日 関西地区で個人株主IRを実施 関西地区において個人株主 を対象とした経営・業績概 況説明会と広畑製鉄所見学 会を実施した。

11日 POSCO と2007年度鉄鉱石 年次ペンチマーク価格を共同 交渉

当社と㈱ポスコは、鉄鉱石の2007年度年次ベンチマーク価格交渉および世界需給等マーケットのスタディーを共同で行うことで合意した。

11日 広畑製鉄所タイヤガス化リ サイクルが環境大臣表彰を 受営

地球温暖化防止活動環境大 臣賞(技術開発・製品化部門) に、広畑製鉄所のタイヤガ ス化リサイクルが選ばれた。

13日 君津製鉄所第6連続鋳造 設備が竣工

13日 ブラジル リオドセ社と戦 略提携合意

新日鉄とリオドセ社は、戦略的提携合意書を締結した。



© T.Uran



14日 第 17 回新日鉄音楽賞受賞 者が決定

フレッシュアーティスト賞 に指揮者の下野竜也さん、 特別賞にピアノ調律師の村 上輝久さんが選ばれた。

16日 東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ 2006」に出展。当社と新日鉄エンジニアリング(株)は、「NSF(ニッテツスーパーフレーム工法)」、「スラグの活用」、「NSエコパイル」を展示した。



20日 広畑製鉄所 2CGL が竣工 2005 年 8 月に起工した広 畑製鉄所 2CGL (溶融亜鉛 メッキ設備)が竣工した。



21日 新日鉄化学㈱が新規緑色有 機 EL 材料の開発に成功

新日鉄化学(株)は、次世代のフラットパネルディスプレイとして有望視されている、有機 EL ディスプレイ用の材料で、赤色に続き、新規緑色燐光材料の開発に成功した。